

バイオマスを使用したごみ袋「大地のMino-Re:」発売のお知らせ

～プラスチックの使用量削減、CO₂排出の抑制実現に向けて～

2022年6月24日発売

昭和産業株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長執行役員 新妻一彦）は、当社バイオマスを使用したごみ袋「大地の Mino-Re:」（だいちのみのり）を 2022 年 6 月 24 日（金）より発売いたします。

昭和産業グループは「穀物ソリューション・カンパニー」として、持続可能な社会の実現と当社グループの持続的な成長を目指す、CSV 戦略に基づいた ESG 経営を推進しています。「大地の Mino-Re:」は、原料の一部に非食品用途のバイオマスを使用することにより、石油由来プラスチックの使用量を削減し、二酸化炭素（CO₂）排出を抑えた設計となっております。

これまでに千葉県船橋市役所や、当社がオフィシャルパートナーを務める鹿島アントラーズのホームスタジアムなどで実証実験を行い、ごみ袋に適したバイオマスの配合検討など課題解決を重ね、製品化に至りました。「大地の Mino-Re:」という商品名には、大地で育った穀物から得られるバイオマスが、ごみ袋として活用され、その後も循環して再び植物が実るように、との想いを込めております。

当社グループは引き続き、穀物を育む大地とその環境を守るため、環境負荷低減に向けた取り組みを推進してまいります。



「大地のMino-Re:」のイメージ図

<45L> 650mm(折込200mm含む)×800mm

<90L> 900mm(折込300mm含む)×1000mm

「大地の Mino-Re:」商品特長

1. 原料の一部に非食品用途のバイオマスを使用

➡ 石油由来プラスチックの使用量を約 **20%削減**

➡ 焼却時の CO₂排出量を約 **20%削減**

当社の取り扱う穀物(小麦、トウモロコシ)由来の非食品用途バイオマスを配合しております。

2. ライフサイクルにおける CO₂排出量を約 **10%削減**※

製品のライフサイクル全体(原料調達、製造、流通、使用、廃棄など一連の過程)で CO₂排出量が削減できることを確認しております。

※石油由来ポリエチレン 100%品との比較

3. ラフな質感で手になじみやすく、袋を開けやすい

植物素材由来の細かな凹凸があり、バイオマスを感じられる仕上がりです。

お求め、詳しい商品情報は『エコ商品ねっと』をご覧ください。

<https://www.gpn.jp/econet/> (オープン価格)

※本製品は株式会社バイオポリ上越(本社:新潟県上越市、代表取締役 武田豊樹)との共同開発によるものです。

<関連情報>

•SHOWA のスマートプラスチックアクション

<https://www.showa-sangyo.co.jp/csr/environment/plastic-action/>

•2020年2月21日 ニュースリリース

当社バイオマスを使用した「ごみ袋」を鹿島アントラーズ・エフ・シーと使用開始

<https://www.showa-sangyo.co.jp/news/pdf/20->

[11_baiomasuwoshiyousitagomifukurowokasimaantorazutosiyoukaishi.pdf](https://www.showa-sangyo.co.jp/news/pdf/20-11_baiomasuwoshiyousitagomifukurowokasimaantorazutosiyoukaishi.pdf)

•2019年10月28日 ニュースリリース

バイオマスを使用した「ごみ袋」のフィールド実験を開始

https://www.showa-sangyo.co.jp/news/pdf/19-31_baiomasugomifukurojikkenkaisi.pdf

以 上

<本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先>

昭和産業株式会社 経営企画部 コーポレート・コミュニケーション室 担当:赤松

TEL:03-3257-2042